



横瀬町議会だより

No.92 2011.10.15 発行

紹介します！
町の団体①

「私たちは体協です！」



横瀬町体育協会は、17種の競技団体とスポーツ少年団、各地区体育部で構成されています。やってみたいスポーツがありましたら、お声がけください。

9月定例会

平成22年度決算認定

P.2

一般質問

町に聞いた

観光施策・水道整備
道路整備・財政政策

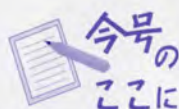
「4名の議員が登壇」

P.6

恒例！議員の給食試食会

「食べて、感じて、議論する」

P.8



今号の
ここに注目！

「決算議会」
とも呼ばれ
る9月議会

では、主に平成22年度の町のお金の使い方について、慎重に審議しました。町広報にも決算の数字は載っていますが、議会だよりでは白熱した審議の「経過」をお伝えします。また、裏表紙には「議員の給食試食会」のようすを掲載。議場とは違う議員の「素の表情」もご覧ください。



仲よしルーム「メープルの森」

旧芦ヶ久保小は
介護予防や子育て支援の場として
施設を改修し、
活用しています



22年度事業
ピックアップ

Pick Up!

多目的トイレ



平成 22 年度
町のお金の使い方をチェック

平成 23 年 9 月定例会
(9 月 14 日・15 日)

一般会計決算、数字で見ると……

町が使ったお金（歳出）
3,642,575,244 円

町に入ったお金（歳入）
3,882,274,951 円

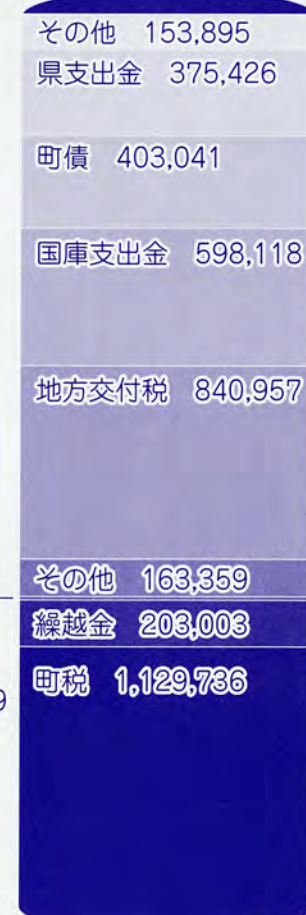


商工費
37,644
議会費
51,815



町民 1 人あたり
39 万 9,361 円

福祉等の充実に（民生費）	10 万 1,438 円
学校教育等に（教育費）	7 万 961 円
計画推進のため（総務費）	6 万 9,942 円
土木工事などに（土木費）	4 万 7,281 円
借金の返済に（公債費）	3 万 4,361 円
町の衛生のため（衛生費）	3 万 3,936 円
町の消防のため（消防費）	2 万 91 円
農林水産振興に（農林水産業費）	1 万 1,539 円
議会のために（議会費）	5,680 円
商工振興のため（商工費）	4,127 円



繰入金
14,739

依存
財源
61.1%

自主
財源
38.9%

棒グラフ（単位：千円）

※平成 23.3.31 現在の人口 9,121 人で計算
※小数点以下は切り捨ててあります。



議会はここに注目、 町(監査委員等)に聞きました!

「町の財政健全度はどうか」「22年度の町の収支は…」議会では決算書を精査し、本会議にて質疑を行いました。

問 一般会計実質収支において、平成22年度も21年度同様黒字だが、その額はどうなっているか。

答 実質収支の差は約2780万円です。

問 実質赤字比率^(※1)について、前年度(21年度)との黒字の比較について聞きたい。

答 21年度に比べ、22年度のほうが1・08ポイントよくなっています。

問 連結実質赤字比率^(※2)は前年度と比較してどうか。

答 すべての会計を合算した実質収支の黒字額は、前年度に比べ4156万円増加しています。

問 将来負担比率^(※3)が96%から98%へと2・0ポイント悪くなっている理由は何か。

答 上下水道の繰入金などが増加したためです。

問 一般会計の主要財務比率、財政力指数^(※4)が前年度より低下(0・573)した理由は。また、財政面の対応・対策の必要性を感じるのところはどこか。

答 指数の低下は、財政需要額の増加によるものです。私見ですが、財政面の対策としては、「苦しくなる前に手を打つ」

ことだと考えます。具体的には「むだを出さず、出口(支出)を締める」「縮小均衡を保つ」「並行して入口(収入)を増やす」などです。

これまでの行政改革で結果は出てきましたが、転換点に来ていると感じており、歳入を増やす、経営的センスを持って事に当たる、若い人の意見を吸い上げる等も必要だと考えています。

問 平成23年度に想定される不納欠損額^(※5)の予測と対策は。

答 額を減らす方法をとっていきます。金額について、現時点では不確定です。

問 ホームページリニューアルの内容について伺う。

答 ボリュームを増やし、画面の変更などを行いました。



(※1) 実質赤字比率…一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。(※2) 連結実質赤字比率…一般会計の赤字の程度を数値化したもの。(※3) 将来負担比率…一般会計が将来負担すべき負債を数値化したもの。(※4) 財政力指数…この数値が「1」に近いほど財源に余裕があるとされ、1を超えると普通地方交付税は交付されない。(※5) 不納欠損…歳入調定を行ったものが、何らかの事由により徴収ができず、今後も徴収の見込みが立たない場合、損失計上される。これを「不納欠損」という。

議会はここに注目、町に質問！

子どもから高齢者まで、いきいき暮らせる町にしたい



問 「東北義援金90万円」の内容は。

答 秩父郡町村会の取り決めで、町は東北3県の町村会宛に各30万円ずつの義援金を送りました。

問 バス路線の補助金、ほかの有効な方法はないのか。

答 バス利用者は減少傾向にあります。将来については、定住自立圏でも検討しています。

問 地域密着型介護施設補助について、補助率を伺う。

答 介護施設への補助金です。特養に定額でベッド1床につき350万円、グループホーム1施設につき3000万円となっています。

問 芦ヶ久保の中学校の生徒をスクールバス通学にできないか。

答 芦ヶ久保の中学校生徒は、電車を補助しています。スクーラバスは、芦ヶ久保小学校統合時の約束であり、登下校の時間が違うため、利用できない状況です。

問 町有財産としての代替地の有効活用は。

答 取得はしましたが、要求者が辞退する例もあります。町としては研究課題です。

問 委託料と積算について聞きたい。

答 土木関係の委託料は標準歩掛りで積算できます。歩掛りのないものは、事前に見積りをいただき、内容を検討して発注しています。入札価格は業者が決定します。落札の基準は、県内

の市町村に揃えています。



いざという時のためにも……

問 国民健康保険税の徴収率は76%だが、80%を割ると何らかの措置がとられるのか。

答 財政調整交付金が減額される制度があります。

徴収率の向上には、景気の影響はありますが、督促状や催告書、訪問対応、週2回の窓口延長や月1回最終日曜日の窓口開設も行っています。また、口座振替も進めています。

以上の経過を経て、議会は平成22年度各会計決算を、**全員賛成で認定**しました

関根修議員より

賛成討論がありました

厳しい財政状況下、町は平成16年以来、確実に行財政改革を進めてきた。そこから学んだ精神を忘れず、堅実で誠意ある効率的な予算執行に十分配慮されている。

税収等の落ち込みはあるが、これには国の抜本的な改革が必要。財政力指数(過去3カ年の平均値)が0.635と低下したが、その他の財政指数には改善が見られ、横瀬町の財政健全度はかなり良好である。特別会計・事業会計においても、住民の理解と協力を得ながら、おおむね安定した成果をおさめている。

総合的に見て、この数年間で行財政改革の意識は浸透してきており、良好な財政運営がなされていると評価し、平成22年度決算認定に賛成する。

平成 23 年 9 月定例会 議案と審議結果

平成 22 年度 各会計決算を認定しました

一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・老人保健特別会計・下水道特別会計・水道事業会計

以上すべて **全員賛成 認定**

人事案件

横瀬町教育委員会委員の任命について

新井勝之氏を新たに任命 **全員賛成 同意**

前任者の任期が満了したため

条例を一部改正しました

横瀬町職員の給与に関する条例

横瀬町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例

横瀬町防災会議条例

横瀬町災害対策本部条例等

横瀬町災害弔慰金の支給等に関する条例

以上すべて **全員賛成 可決**

専決処分を承認しました

横瀬町税条例の一部を改正する条例 **全員賛成 承認**

その他の議案

埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について

ちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について

以上すべて **全員賛成 可決**

平成 23 年度 各会計予算を補正しました

一般会計（2回目）・国民健康保険特別会計（1回目）・介護保険特別会計（1回目）・後期高齢者医療特別会計（1回目）・下水道特別会計（1回目）・水道事業会計（1回目）

以上すべて **全員賛成 可決**

報告を受けました

横瀬町の健全化判断比率及び資金不足比率について

報告

を受けました

秩父広域市町村圏組合から、報告がありました
**ごみ処理施設の
工事受注問題、
和解案を締結**

秩父広域市町村圏組合が、東京地方裁判所に提起していた「ごみ処理施設建設工事の受注に係る不正行為問題」について、被告（日立造船株式会社）が、7億4400万円を当組合に支払うことを骨子とした和解案が締結されました。

こんなことも やっています

秩父地域基幹道路建設促進及び水と森林を守る議員同盟
**水環境保全のため、
昨年同様、視察を実施**

今年は8月29日に、昨年10月の新皆野橋開通後、その先につながる工事箇所を見学。特徴として、7つの橋と2つのトンネルを計画しているとのこと。また、建設以来半世紀が経過している小河内ダムを見学。水源域森林管理に努め、流入水による濁りが非常に少ないダムとして良好な飲料水を供給し続けているとのこと。今後、住民生活の安心・安全に必要な環境整備の促進に努めていきたいと思っております。

平成23年度 一般会計補正予算の②に関する主な質疑

問 企画費の減額（485万8000円）は、職員が1名減ったのか。

答 管理職職員が異動となったあとに新人職員を配置したことで給与が減になったものです。なお、内部調整により、異動による業務への支障はありません。

問 横小耐震工事については、繰越明許費であるので、夏休みを利用して行えたのではないかと。なぜこの時期になってしまったのか。

答 3月に繰越を行い、耐震判定委員会を経て9月8日に設計が終了しました。今年度中に工事が終わるよう、入札の手続きを進めているところです。また、学期中の工事のため、安全に留意しながら工事を進めていきます。

問 横小の太陽光発電の内容についてお聞きしたい。

答 スポーツ交流館屋根に太陽光モジュール出力50・4キロワット。280枚の太陽光パネルを設置するものです。

「4名の議員が、町に考えを聞きました」



一般質問とは、議員が政策提言も含めて町政全般について質問するものです。質問したい議員は、事前に「こいつ質問をします」ということを示した「通告書」を提出しておかなければなりません。なお、横瀬町の本会議一般質問の持ち時間は、原則1人1時間以内です。

おおののぶえ
大野伸恵議員が聞く！

観光施策 ほか

問 町の観光への取り組みと その意欲は？

答 町全体を観光地と考え、
回遊型の形を取りたい。

問 第5次基本構想にうたわれている町の観光について、具現化するためにどのように実施しているのか。全町公園構想などの実施、またポケットパークなどは考えないのか。武甲山など、平日でもかなりの登山者が見られる。姿の池の周辺整備や札所道など、横瀬町にある資源活用はいかがか。

また、専属職員のいる組織をつくれれば雇用も確保できる。積極的な行政展開を図ったほうがいいか。

答 振興課長：現在は67万人が訪れています。姿の池、札所、オープンガーデン等と連携し、回遊性を高めることが必要と考えます。また、観光協会の法人化を図るよう努めます。

問 役場職員や各種委員会の共同参画の実現度は。

答 総務課長：役場職員は女性30人、男性59人です。職員

こいずみはつお
小泉初男議員が聞く！

水道整備 ほか

問 町営水道の推進について

答 給水申請が提出され次第、
計画します。

問 根古屋一区にある桜ヶ丘団地内の町営水道の推進を提案してきたが、具体的な整備方法は。町からも積極的に話を進めてほしいが。

答 上下水道課長：地域住民の総意により給水申請等が提出された時点において、要望に対応できるように現地調査を行うなど、準備を進めている状況です。

問 旧芦ヶ久保小学校の利用に関して、その修繕費用と耐震などの安全性について聞きたい。

また、単独浄化槽だが上流域に立地しているため、水道水源条例に鑑み、いかがか。

答 副町長・まち経営課長：ミニニデイサービスなどに利用し、修繕費は510万円ほどです。1教室分の利用なので耐震工事は必要ないと考えています。浄化槽につ

いては、必要があれば考えたいと思います。

問 根古屋城址の再整備について、見通しが悪く、利用者から不満の声がある。文化財としての今後の利用と再整備は。

答 振興課長・教育次長：町指定の文化財のため、遊歩道など利用促進のPRはしますが、必要最低限の整備にとどめます。現状のままの保存を考えています。

問 中小企業の低迷が深刻化しているが、横瀬町としての雇用対策の推進や救済対策の取り組みはいかがか。雇用は、横瀬町民を優先しているか。

答 振興課長：秩父管内は0.46倍の求人率となつていようです。平成22年度は緊急雇用で43名雇用していますが、そのうち14名が町民です。

一般質問 町政を問う

わかばやしそーいちろう
若林想一郎議員が聞く！

道路整備ほか

問 首長の多選について

答 引き際は常に考えています。

問

首長の多選制限と町政の進展（世界88カ国で多選制限があり、そのうち61カ国で任期は10年以内とされている。13年目を迎えた町長は、このことについてどう考えているか。また、人事の偏向化や町政の停滞などの弊害はないか）について。

答

町長：私はそのことについて真摯に受けとめていますが、引き際という責任ある区切りをつける意思は常に持っています。

問

町道の整備（町道5号線の改良）について。

答

建設課長：平成23年度からは、社会資本整備総合交付金事業として横小東側付近から下横瀬橋に向かって改良していきたいと考えています。

問

安心・安全のまちづくり（和田地区の護岸工事）について。



整備された町道5号線

答

建設課長：県の取り組み状況を見ながら、地元意見を反映した要望書の提出等をその都度行っていきたいと考えています。

問

県有地の有効利用（字南前峠の県有地に係る開発の進捗状況）について。

答

建設課長：当該地の開発については平成8年に県から許可を受けており、本年2月に8回目の変更届書を町経由で県に提出しています。

財政政策

とみたよしなり
富田能成議員が聞く！

問 歳入確保のための組織的な取り組みを

答 要望は、しっかりと承っております。

承っております。

問

この先の町の財政に、強い危機感を持っている。財政健全化に向けたこれまでの努力は認めるが、主に経費削減のみに焦点を当てた現状の取り組みだけでは十分である。

なぜなら、このままでは町の歳入の縮小がより一層進展し、さらに厳しい状況になることが想定されるからである。

歳入を確保するための具体的な努力（人口増加策や企業活動活性化策や税徴収率向上策等）が、今の町には不可欠である。従来の取り組みに加えて、歳入を確保するための組織的な取り組みを速やかに始めてほしい。簡単に結果が出るようなことではないが、まずはその土台となる組織的な議論や検討からスタートさせないと、何も始まらない。

答

町長：確かに歳入の確保は大切ですが、経済状況や人

武甲山を望む、横瀬の秋の風景





知ってください！ 議会活動

会議だけじゃない！
「見て・聞いて・じかに感じる」
これも議員の仕事です。



「見ないことには始まらない」。次の時代の“よこぜ”を担う子どもたちはどんな給食を食べているのか。実際に食べて、感じて、その上で議論すべきだという考え方から、5年前より始まった議員の「給食試食会」。
町民皆さんからの“給食に関する声”も、ぜひ議員にお寄せください。

人気メニューはなんだろう？

なかなかおいしいです。

毎年9月議会の2日目に実施している「議員の給食試食会」

みんな完食しているかなあ？

(試食を終えて)

毎年食べている議員から卒業以来数十年ぶりという議員まで、さまざまな思いで試食しました。

栄養バランスやカロリー量だけでなく、子どもたちの嗜好まで考慮した上で多くの種類の献立をつくり、給食として提供する大変さが伝わってきました。

この日(9/15)の献立

牛乳

小学生 647kcal	たんぱく質 21.3g
中学生 810kcal	たんぱく質 25.6g

栄養士さんの話も聞きたいですね。

昔を思い出しますね。我々の頃は…

「私たちが編集しています！」
議会だより編集委員会

委員長	若林スミ子	
副委員長	大野 伸恵	
委員	関根 修	
委員	内藤 純夫	
委員	新井鼓次郎	
委員	富田 能成	

め、頑張っています。

9月7日に、割り付け作業、22日までに原稿提出、10月6日に原稿読み合わせを経て、11月に皆様にお届けしています。お届けする頃は、実り豊かな「秋」真っさかりと思います。私たちの議会、だより委員も実り豊かな横瀬町のため、頑張っています。

編集後記

今期2回目の議会だよりをお送りいたします。今回は22年度の決算審査を中心とした9月議会の報告です。決算は「終わった事柄」と捉えられがちです。しかし、どんな場でも同じだと思いますが、「反省なくして進歩なし」。しっかり検証し、翌年度に向けた大切な資料として活用していくことが大切だと考えています。